



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

May 2003 No.11
 Chartered July 20, 1982

標語 YS SLOGANS (2002~2003)

クラブ会長：『心と思いを合わせ、共に生きる』
 国際会長：“ Growth through service ” 『奉仕による成長』
 アジア会長：“ Into the bright light of selflessness ”
 『無私の奉仕で輝く未来へ』
 西日本区理事：『ベクトルを合わせ、地域と共に活動を』
 中西部長：『心(こころ)豊かに！ワイズ・スピリッツを燃やそう！』

クラブ役員 Officers

会長：松浦 孝次
 副会長：中村 茂高
 //：谷川 俊一
 書記：山田 孝彦
 //：畠中 彬
 会計：三浦 直之
 外会長：松浦 和子
 Y連絡職員：浜野 昌保

月間強調テーマ：『LT』

☺☺☺ 5月の聖句 ☺☺☺

【 Biblical Message of May 】

☺☺☺ 5月の例会 ☺☺☺

【 May Club Meeting 】

さて、サウロはなおも主の弟子たちを脅迫し、殺そうと意気込んでいた。大祭司のところへ行きダマスコの諸会堂あての手紙を求めた。それは、この道に従う者を見つけ出したら、男女を問わず縛り上げ、エルサレムへ連行するためであった。ところが、サウロが旅をしてダマスコに近づいたとき、突然、天からの光が彼の周りを照らした。サウロは地に倒れ、「サウル、サウル、なぜ、わたしを迫害するのか」と呼びかける声を聞いた。「主よ、あなたはどなたですか」と言うと、答えがあった。「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。起きて町に入れ。そうすれば、あなたのなすべきことが知らされる。」同行していた人たちは、声は聞こえても、誰の姿も見えないので、ものも言えずに立っていた。サウロは地面から起き上がり、目を開けたが、何も見えなかった。人々は彼の手を引いてダマスコに連れて行った。サウロは三日間、目が見えず、食べも飲みもしなかった。

(使徒言行録 9章1~9節)

☺☺☺ Attention Please ☺☺☺

1. LTとは、ワイズメンとして、クラブをはじめワイズ組織の運営やメンバーとの交流などにあたり、リーダーシップを涵養・向上させることをいいます。
2. 6月の第1例会は、6月7日(土)14:00~17:00 大阪土佐堀YMCA会館302号室で開催します。また、第2例会は6月18日(第3水曜)です。6月のみ両例会とも、日が変わりますのでご注意ください・・・詳細は第5面をご覧ください。
3. センテナリアルクラブのホームページのアドレスは、<http://www.age.ne.jp/x/kyoto/index.html>

【クラブ統計 Statistics】 下欄()は、うち広義会員を表わす

2003年4月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 22(1)名	メ ン	16(1)名	9名	4月:切手 481gr.	4月: 19,100円
例会出席 17(1)名	メネット	5名	名	現金 7,000円	
うちメークアップ 名	ビジター	1名	名		(02年7月~03年4月の)
	ゲスト	1名	名		累計: 197,600円
出席率 76.2%	合計	23名	9名	(02年7月~03年4月の) 累計:切手 6,281 gr. 現金 32,500円	(除く、クリスマス献金、 オークション、記念献金)

○ 5月 第1例会

日時：2003年5月21日(水) 18:30~20:30
 場所：東洋ホテル3階

司会 貴多野 乃武次 君

1. 開会点鐘 松浦 孝次会長
2. ワイズソング 一 同
3. ゲスト紹介 松浦 孝次会長
4. 聖句朗読 谷川 寛君
5. 今月のテーマ「LT」 松浦 孝次会長
6. 日々の糧・晩餐 一 同
7. スピーチ

「ダイオキシンから身を守るー

とくに食品中のダイオキシンについて」

板野 一臣氏(大阪市立環境科学研究所・研究副主幹)

8. お誕生日祝い・ニコニコ献金 一 同
9. その他連絡・報告 各担当
10. 閉会点鐘 松浦 孝次会長

○ 5月 第2例会

日時：2003年5月28日(水) 18:30~20:30
 場所：大阪YMCA土佐堀館9階

*5月例会当番

第1班(山田、鈴木、谷川寛、貴多野)

*5月お誕生日 Happy Birthday!

隅田君 3日、鎌田君 8日

使徒パウロは、イエスの12人の弟子ではありませんが、彼らよりも大きい働きをした人です。彼はもとはサウロという名前で、ローマの市民権を持ち、教養もあり、熱烈なユダヤ教徒で、イエス一派の活動に対する反対運動の急先鋒でした。

今月の聖句の初めの部分に書かれているように、熱心にキリスト教徒を迫害していました。

ところが、ある日イエスの凄まじいとも言える啓示をうけて、その生き方を180度転換し死に至るまでイエスキリストの忠実な弟子となりました。

聖書にはこのあと続けて次のように書かれています。ダマスコにいたアナニアという弟子のところへイエスが現れて、サウロの世話を頼みました。然しアナニアはサウロが悪名高い迫害者であると考えており、なおも躊躇していましたが、イエスの特命により、サウロに洗礼を授けました。目も治ったサウロはパウロと改名し、偉大な伝道者に生まれ変わりました。何事でも熱心に事に当たる人は、いったん回心すれば、素晴らしい働き手になることを教えているように思います。

(聖句選、コメント：黒田蔵之)

4月 第1例会

[Report of the April Club Meeting]

(4月16日(水) 18:30~20:30 東洋ホテル)

プリテン：松浦 孝次

○ 暖かな春の宵、ピシターとしてなかのしまクラブの今井利子さん、ゲストに永島寧さんを迎え、総勢23名が出席して、久しぶりに中村隆幸メンからの話しを聴いた。

○ 三浦直之メンの司会のもとに開会、浜野昌保メンが聖句を朗読、福永嘉彦メンが「YMCA サービス/ASF」について解説を行った。

○ スピーカーの中村隆幸メンは、1974年ワイズに入会、28年のワイズ経歴をもつ。いま大阪船員病院副院長として多忙な人、泌尿器科を専門とする医師の立場から、とくに前立腺の疾患についてわかり易く説明があり、健康維持の大切さを一層実感した。さわりをご紹介します――

「前立腺肥大」は、50歳代で50%、60歳代で60%、70歳代で70%、それぞれその20%にみられる。

「前立腺がん」は、欧米では1位の肺がん仅次于死亡率で、アメリカでは患者10万人で、年3万人死亡している。日本は患者1万人と欧米に比しまだ罹患率は低いが、死亡率が1万人あたり10人と、20年前に比べると倍に増えており、2010年には1万人あたり20人とさらに増える。

原因は食生活にあり、動物性脂肪の摂取とたばこの喫煙に因る。生活習慣病と関りがある。また性生活の欧米化もある。

「肥大」も「がん」も、尿回数が増えるなどの特徴があり、「前立腺症状スコア」で自己診断もできるし、PSA マーカー ♂

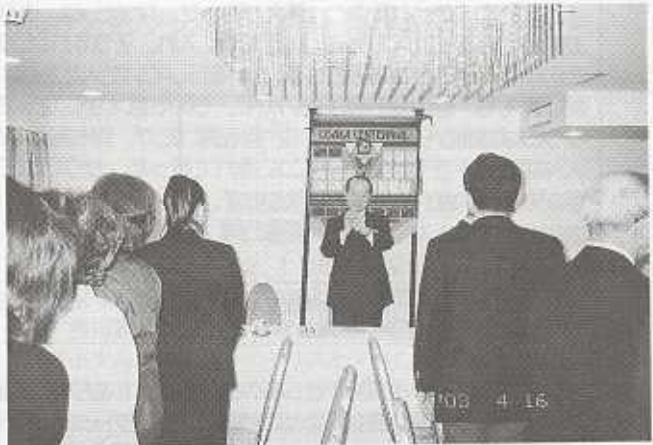
The April 16th meeting was held at the Toyo Hotel, Osaka, with a total of 21 Y's men and Y's menettes, and two guests in attendance.

The YMCA Service and the P. W. Alexander Scholarship Fund were emphasized for this month. Y's Man YOSHIHIKO FUKUNAGA, chairperson of the program outlined the purpose and objective of the two programs.

The highlight of the meeting was a speech made by Y's Man TAKAYUKI NAKAMURA. Dr. NAKAMURA, deputy director of the Osaka Seamen's Hospital and a specialist of the urology spoke about the prostatomegaly and the prostate cancer which have shown remarkable increase recently in Japan due to westernization of our daily food and other factors. Male members showed keen interest in this topic, as they are ageing,

Y's Man SHIGETAKA NAKAMURA reported about the opening ceremony of the new school building at the AmerAsian school in Okinawa on April 12th, which was a great success. Six members of our club attended the ceremony.

Y's Man SAM FUJIMURA made an interim report on the planned visit of the Hiranaka family, which would be scheduled in the late July. He reported the schedule might change, however.



(中村隆幸メンの指導でみな立ち上がって筋肉強化運動を・・・)

♂ による検査がある。治療は、摘出手術、ホルモン治療、放射線治療など。

われわれが心がけることは、①食生活 ②排尿にいつも注意 ③検査を受ける ④水分を摂る(1日1,5リットル)

○ 4月12日 沖縄アメラジアンスクール新校舎の落成式に、わかクラブから6人が出席しお祝いを届けたことが、中村茂高メンから報告があった(第4面の記事を参照)。

また、ハワイ Nuanuu Club のヒラナカ家の来日について、イラク戦争、SARS などがあって、まだ確定していないと、藤原正巳メンから報告があった。

4月第2例会

【 Report of the April Club Meeting 】
（4月23日(水) 18:30～20:30 大阪YMCA）
書記：山田 孝彦

1. ワイズの諸集会について

6/14・15に、西日本区大会が開催される（彦根）。わがクラブからは11人が出席予定。4/12・13に西日本区役員会があり、栗山EMC主任が出席した。

2. 土佐堀YMCA 関連（第1回運営委員会）

松浦運営委員から、運営委員会発足後3年目に入った。会員・地域・Y学校生徒との関りをさらに深め、協力会員を増やす努力を続ける—との報告があった。

3. 5月例会プログラム

プリテン当月号P.1 記載のとおり決定。大阪市・板野一臣氏から、身近で大事な環境問題のひとつ、「食品中のダイオキシン」についての話を聴く。

4. 6月例会プログラム

6/7（土）14:00～17:00 YMCA 会館で、デファレンスデイをもつ。一般の方に参加してもらいやすい曜日とした。クラブ第1例会に代える。照本祥雄氏（中京大学教授）と具志アンデルソン飛雄馬（日本語指導員）によるシンポジウムとする。参加費@500円をいただくが、なおおえない費用相当分を西日本区に補助金申請する。第2例会は、1週間繰り上げ、第3水曜の6/18に開く。

5. クラブ会費

一時的な事情があって例会に出席しがたい場合、その事情が合理的であると役員会が承認したときの会費の扱いについて協議。

6. 本年度各事業の成果の評価

クラブの各事業委員長は、今期の各事業の成果評価についてレポートを5/20までに提出し、それを6月号プリテンに掲載する（6月例会で発表することが無理なため）。

7. ホームページ

最新2カ月のプリテンを載せることにする。



（ アメラジアン新校舎落成式典で喜ぶ子どもたちと
司会のワールデン牧師 ）

4月BF ニュース

【 Report of the Brotherhood Fund in April 】
BF 委員長：栗山 佳三

◇現金提供者：鈴木、栗山、山田君

◇切手提供者：畠中、山田、松浦、谷川寛、黒田、藤原、栗山、鈴木、隅田、田中、三浦、福永君

* 今月の殊勲賞 鈴木君 5,000円 畠中君 150gr
山田君 140gr

ヴェトナム 訪問記

谷川 寛

3月18日、例の新型肺炎が暫くなる前にヴェトナムを訪問しました。今回の訪問は、時間の関係からホーチミン・シティに限られました。

目的は、ヴェトナムYMCAが、新しく自前の会館をもつことになり、この会館竣工記念祝典に参加することでした。アジアをはじめ、アメリカのYMCA、その他のNGOが集い、新しい会館の竣工を祝いました。4階建てのこじんまりした建物ですが、ミシンの技術訓練を兼ねた縫製教室もあります。日本からも多くの献金が寄せられました。富山からはYMCA以外のNGOの参加がありました。派手さはありませんが、大変心の暖まる集いでした。



（竣工したヴェトナムYMCA会館にあるミシン縫製教室）

滞在中の3月20日は、私にとって記念すべき日になりました。ホテルの近くに「ヴェトナム戦争記念博物館」があり、日程にはいっていませんでしたが、アメリカのYMCAからの友人と、朝食のあと出掛けました。ヴェトナム戦争時に使用された米軍の戦闘機から、戦車、大砲、各種の爆弾などあらゆる兵器が陳列されており、戦場の多くの写真、逃げまどうヴェトナム人の親子の写真、枯れ葉剤などの使用による後遺症の恐ろしさ、そして最後にアメリカ軍の撤退の様子、サイゴン陥落などが陳列されていました。戦争の悲惨さをいよというほど見せつけられました。

ホテルに帰り、テレビをついたら、アメリカのイラク攻撃を報じていました。この後、博物館と一緒にいったアメリカ人の友人に、戦争が始まったことを伝えたところ、「アメリカ人は、自己中心的で、なんでこう無知なんだろう!!」という反応がかえって来ました。

沖縄アメリカンスクール
新校舎落成式典に参加して

副会長 中村 茂高

ふりしきる雨に視界を遮られながらも、どうにか新校舎にたどりつくことができました。

4月12日(土)、松浦、山田、藤原、三浦、坂本哲、中村の6人は、宜野湾市に移転した校舎の式典に参加し、学校関係者と久しぶりの再会を喜び合いました。

会場は、建物のエントランスと仮設テントで、集まった政府関係者や全国のサポーターら200人であられんばかり。式典は、来賓の挨拶、子どもたちの歌、青年団のエイサーの踊りなどおごそかに、かつ賑やかに行われました。印象的だったのは、時々言葉をつまらせるセイヤーみどり代表の涙でした。これまで苦しかった5年間の運動の末、ようやくたどり着いた感慨深さに胸をつまらせたものでしょう。

新校舎は、とてもデザインの凝った白いきれいな鉄筋の2階建て、スクールとして使えるのは1階の6教室。各部屋にはクーラーと机と椅子、個人から寄贈されたパソコン8台が入っていました。

しかし今や58人の生徒を抱え大所帯となったスクールにとって、今後は教師の不足や資金難が大きな課題になりそうです。

6人はその後、同スクールの父兄が経営するお店で、他のサポーターたちと泡盛で乾杯しながら沖縄料理に舌鼓をうち、スクールの今後の繁栄を祈りました。



(スクールの表札を前に、セイヤー校長、与那嶺さんとともに)



(式典で合唱する子どもたち)

今月の所感 鈴木 謙介

このところIHQ(ジュネーブのワイズ国際本部)の人事異動に注目している。有名なINGVAR WALLIN君(スウェーデンの原子物理学者)が、永らくISG(国際書記長)としてIHQに腰を下ろして世界中のワイズのことを切り守りしていたが、一昨年退職し、いまのIHQはROLANDO DALMAS君(ラテンアメリカYMCAスタッフ)となった。

IHQについてはISGとCouncilとの関係、およびIEO(国際執行委員)との関係において、どうもギョチナイ現象が現れて関係を心配させている。ことの発端は、言語上の誤解や規則の不備による権限の拡張解釈や越権などの事柄が当事者だけの範囲でdiscussされればよいのに、今日のコンピューターの発達によって、枠外の人々の議論を誘い出し、それらが即時世界中に伝播するという不幸を醸し出していて、ワイズとして見苦しい。

またINGVAR WALLIN君の最良のsecretaryだったHILLEVI ANDERSON夫人がIHQを4月末退職した。夫人はISGの仕事を多年手伝い、ワイズメンにとってなくてはならぬ人だった。それがYVONNE DE JONGさんに代った。明らかにラテン系の婦人で、DALMAS君には都合がよからう。だが、生き字引のようなHILLEVI夫人にとってかわるのは大変だろうと想像する。

ROLANDO DALMAS君 しっかりやってくれよ!!

番外編

スクール落成式の翌13日の朝、前日の悪天候は去って、幸い好天になった。6人衆うち揃って那覇市近郊の港から、中村茂高メンのキャンプリーダーの後輩、松本次右さんがご当地で経営するクルーザーにのって海釣りに挑戦。戦果はどうか?..

三浦(終始冷静に黙々と)「・・・」——4匹の釣果あり

山田「ひきのコツがわかってきたなあ〜」——3匹も釣上げ

坂本「やった!沖縄に来た甲斐があったぞ」——なんとか釣リマニアの面目をほどこし、喜色満面。

藤原「お〜ひいたぞ・・・なんや地球(海底の土のこと)か!」

中村「どうも食いつきがないな」

松浦(船酔いのため、終始声も出ず)「・・・」——戦果なし

——釣上げ実績の順ですが、下位3人は同じです、念のため、

(初の海釣りが皆目ダメで落ちこんだ 松浦 記す)



(釣上げた貴重な獲物を前に)

～～ 6月第1例会のご案内 ～～

- ・日時：2003年6月7日(土) 午後2時～5時
- ・場所：大阪YMCA会館3F302号室
- ・テーマ：「子どもの権利条約とマイノリティーの子どもたち」
- ・サブタイトル：「ブラジルの子どものサポート活動を通して」
- ・講師：照本 祥敬氏(中京大学教授)
具志アンデルソン飛雄馬氏(日本語指導員)
(具志さんの経歴) 15年前来日し、三重県内の小・中・高校の日本語指導員として活躍。自身が学校でのいじめの体験をもとに、ブラジルの子どもたちの相談サポートや、市民、行政関係者、教師を対象に講演会活動を行っている。

お知らせ

1. YMCA 関係行事の日程が決まりました(詳細は追って)

- ・大阪YMCA チャリティラン 11月9日(日)
- ・大阪YMCA 祈禱週 11月10日(月)～
- ・土佐堀YMCA カーニバル 11月3日(祝・月)
- 土佐堀YMCA クリスマスのつどい 12月6日(土)

2. ワイズメンズクラブ第6回西日本区大会——彦根市

[6月14日(土)]

- ・西日本区役員会 9:30～10:30
- ・西日本区代議員会 10:45～12:00
- ・メネットアワー 10:45～12:30
- ・西日本区大会 13:00～17:15
- 以上は、ひこね市文化プラザで
- ・パーティ 18:30～20:30 彦根プリンスホテル

[6月15日(日)]

- ・聖日礼拝 7:45～8:30 ビッコロボスコ
- ・表彰～閉会式 9:00～11:30 ひこね市文化プラザ ♀

3. ワイズメンズクラブ国際協会・第20回アジア大会 7月24日(木)～27日(日) フィリピンで開催

YMCA ニュース

連絡職員：浜野 昌保

○ 今月は年に1度の大阪YMCA会員大会が開催されます。この1年も会員の皆様方のご協力、ご支援、ご奉仕によって多くの成果がありましたことを感謝いたします。今後ともよろしくお願ひいたします。会員大会には維持会員の方はご出席ください。

★大阪YMCA会員大会

日時：5月31日(土) 15:00～17:00
場所：大阪YMCA会館 2階ホール
内容：1. 報告 2. 議事 3. 会員表彰 4. 会員交流会
問合せ：大阪YMCA Tel06(6441)0894

★第121回大阪YMCA早天祈禱会

日時：5月16日(金) 午前7時30分～8時30分
場所：大阪YMCA会館 10階チャペル
証し：中村隆氏(大阪高槻YMCA所長)

4月のメネット会はこんな風になりました

メネット会長 松浦 和子

桂 吉弥さんをお聴く

4月14日(月)夕、ワッハ上方で吉弥さんの落語会がありました。2月の例会でこの公演のことを聞いていたので、メネット有志が誘い合せ、隅田さん、中村幸枝さん、中村珠美さんと私の4人が参加、中村茂高メンも会社の人たちが数人でみえていました。吉弥さんは「道具屋」「天神山」「俗気の独楽」を演じましたが、汗びしょよりの熱演、女性の声色やしながうまく、私たちは思いきり笑い、ストレスを解消しました。メンの皆さんも落語をきいてストレスを落してください。

料理講習を楽しむ

4月21日(月)阪神芦屋駅近くの料理教室で中村珠美メネットの指導のもと、饅頭のたき、ジャガイモのゴマバター煮、野菜の天ぷらなどをロイヤルクイーンのお鍋で作りました。素材の味が損なわれず、美味しくいただけました。中村幸枝さん、隅田さんと私の3人が出席しました。



(料理のレバトリーが広がったカナ・・・)

★アウトドア救急法セミナー

日時：5月18日(日) 午前9時30分～午後4時
場所：大阪YMCA会館
内容：普通救命講習およびアウトドアの救急法
動きやすい服装で参加 参加費300円
問合せ：土佐堀YMCA Tel06(6441)0895

★チャリティーゴルフコンペ

日時：5月22日(木)
場所：飛鳥カントリー倶楽部(奈良市)
問合せ：チャリティーゴルフコンペ係 Tel06(6441)0894
この収益金は、青少年育成基金に用いられます。

★初心者のための山登り教室

期間：6月10日(火)～8月26日(火)
内容：机上講習(毎週火曜日8回)と実技講習(3回)
修了山行は白馬岳を目指します。
問合せ：土佐堀YMCA Tel06(6441)0895



ニコニコ・メッセージ



【 Messages from the Club Members 】

ゲストからのメッセージ

○中村先生のスピーチをお聞きしたく久しぶりに訪問させていただきました。いい勉強になりました。私も脳腫瘍のガンマーナイフ（放射線治療）で成功しました。医学の進歩に感謝しています。勉強になる例会でした。
(なかのしまクラブ 今井 利子)

“ごさだ”メッセージ

○4月例会に出席できません。ご容赦ください。

(貴多野乃武次)

○このたび生野高等養護から藤井寺養護学校に転勤となりました。以前から遠くなり、また4月は新学期で何かと忙しく、4月例会には出席できそうにありません。皆様によろしくお伝えください。
(新保 正秋)

会員からのメッセージ

○全くの初めての話で興味深く聴くことが出来ました。健康に気をつけてこれから生活をしていかなければなりませんね！！

(石津 雅人)

○ニコニコ欄にふさわしくはないかもしれませんが、3月中旬兄が急逝しました。生前の言葉を思い出し、通夜るとき「紅燦ゆる丘の花」（旧制第三高等学校寮歌）を歌いました。お経よりも本人は喜んだことと思っています。

(黒田 徹之)

○これから起こるだろう病気について前もって学習できてよかったです。予防方法についてもこれから実行していきたいです。ありがとうございました。中村Dr。

(坂本 千春)

○畏友、中村医師の前立腺の話は自分のためにして頂いた様などで有益で感謝したい。

(鈴木 謙介)

○中村先生のお話でガン予防には食生活が大事だと伺いました。今月よりネットファンドの味の素食品の販売をしております。上手にお料理に取り入れて頂けたらと思います。

(隅田 恵子)

○前立腺症の名前は知っていますが、具体的なお話を伺いまして大変ありがとうございました。

(田中 穰二)

○3月例会欠席しました。香港、ベトナム、ロンドン、ジュネーブと22日間留守しました。いろいろな経験をしました。このお話をまたいたします。中村ドクターのお話し大いに参考になりました。

(谷川 寛)

○桜が花から青葉に変わっています。季節は春本番です。青春です。センテニアルのメンバーも青春を楽しみましょう。平均年齢を気にせず。

(谷川 俊一)

○貴多野メンがコーディネートされた、文化を生かした国際交流集客のシンポジウムに私も参加させていただきました。本当に立派な楽しい夢のある会でした。

(中村 幸枝)

○今日は健康について良いお話しを中村ドクターにお聞きしました。健康には気をつけましょう。

(中村 茂高)

○つたない話で申し訳ありませんでした。Y's への活動はもう少し待ってください。お願いします。

(中村 隆幸)

○水分を1日に1.5リットルと体操で健康になりたいですね。45歳の誕生日を迎えて始めようと思っていました。

(浜野 昌保)

○久しぶりにお元気そうなお顔を拝見できて御同慶の至りです。健康にあらためて留意すること痛感しました。Dr.中村に感謝。

(福永 嘉彦・滋子)

○やっと念願のワイズの例会に出席できて、感慨も一入です。皆さんにお目にかかって、苦しかった闘病生活の苦勞も吹き飛ばしました。今後また一会員として、センテニアルの発展に人力を尽くしたく考えておりますので、よろしくご交誼のほどお願い申し上げます。

(藤原 正巳)

○藤原さんのお元氣な姿を見て本当にうれしく思いました。中村先生のお話しを伺って食生活が大切だということがよくわかりました。食事のバランスを考え、つま先立ちの運動を心掛けたいと思います。

(松浦 和子)

○中村隆幸メンから初めてお話しを聴くことができ、うれしかったですね。前立腺の疾患は、高齢化の中での身近な疾患だと思います。食生活に留意することが大切だと実感しました。

(松浦 孝次)

○アメリカンスクールを訪れ、新校舎完成をお慶びすると同時に、これからもっともっと交流することがいっぱいあることに気づかされました。子供たちの心・気持ちへのサポートは勿論ですが、学校運営の経済的支援も問題山積のようです。私達ももっと知恵を絞って何かができるか考えねば、と思いながら帰ってきました。

(山田 孝彦)

○中村先生の前立腺の話大変興味深かったです。アメリカンスクールの校舎落成で沖縄へ行き自他ともに有意義なツアーでした。

(三浦 直之)



(沖縄アメリカンスクール新校舎落成を祝ってのケーキパーティ)

短 信

○ 黒田巖之メン、藤原正巳メンが、久しぶりに4月例会に顔を見せられました。藤原メンは、常人より倍早く退院と社会復帰を遂げ、4月12、13日の沖縄ツアーにも参加、怪人ぶり(?)を発揮され、なによりもめでたいことです。

○ 谷川寛メンは、SARS渦と「イラク戦争」の最中、香港・ベトナム・スイス・イギリスとYMCA関係の仕事で、20日間をこえる外国訪問のあと無事帰国し、4月例会に出席されました。ベトナム訪問について第4面に寄稿してもらいました。

○ 新保正秋メンは、「ニコニコ」にも書いておられますが、4月から藤井寺養護学校の校長に転任、新学期早々の忙しさと職場が遠くなったことで、ここしばらくは例会に出席がままならないとのことです。

○ 畠中 彬メンは、4月から大阪府生活文化部の青少年健全育成指導員として、茨木市内での勤務に転任されました。守山市から大阪府堺町までの長い通勤、ほんとうにご苦労さまでした。

《 編集後記 》

○さわやかな新緑の季節になりました。健康のよろこびを実感するときはです。

○今月は、沖縄アメリカンスクール新校舎落成式の記事・写真を多く載せました。

(松浦 孝次)